

前橋国際芸術祭2026
オフィシャルサイト

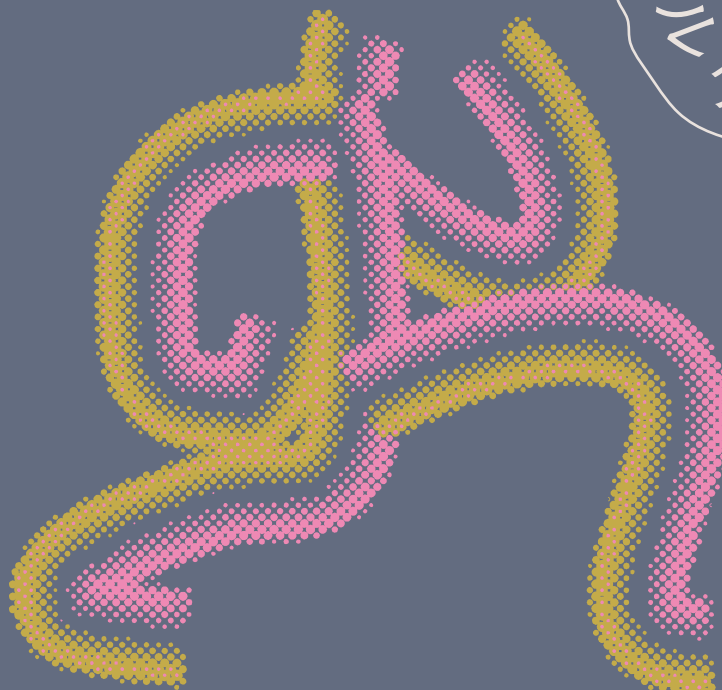
前橋国際芸術祭 2026 地域協働プログラム

参加型

移動式公開編集会議

歩け、前橋。
歩け、濃度。

アルケノード



「アルケノードとは？」
ARKHENODE (アルケノード) — 古代
ギリシャ語 ARKHĒ(根源) に命令形「歩
け」を重ね、節点を意味する NODE を
結んだ造語。歩いて出会ったことを、言
葉にして結ぶ。

ARKHENODE
editorial committee

うろろ歩け。意味はそれから。 正解を求めて進むのではなく、直感に従って街をさまよってみる。 謎の屋台に連れられて、わからなさを面白がってみる。 これは、歩くことで発見したまちの断片、
そして、まちを耕す先人たちの言葉から まだ知らない「前橋のすがた」を掘り起こし、そのインスピレーションを 一冊のZINE (小冊子) に編み上げる、移動式の公開編集会議です。
このまちの「あたらしいセーブデータ」を記録する現場に、ともに立ち会ってみませんか？

Supported by



hengeni



うろ
ろ
歩け
意味は
それから。

About

正解を探さず、街をさまよう。謎の屋台に連れられて、わからなさを面白がる。歩いて話して生まれたものを一冊のZINEに編み上げていく、移動式の公開編集会議。

ARKHE → ^(意味) 根源・^{アルケー} 歩け → まち歩き
 NODE → ^(意味) 節点・^{ノード} 濃度 → トーク

ARKHE

イントロダクション ①

② 参加者自己紹介

③ 屋台を引きながらゆっくりまち歩き

④ トークイベント会場に到着

⑤ みんなで会場設営

NODE



椅子、スピーカー、ランプ。いろいろなものが積まれた屋台をみんなで引きながら、歩く、歩く。会場に着いたら、トーク開始。



Walk & Talk

現場の記録をもとに、一冊のZINEを制作します。
 プロトタイプ版 / 2026年9月
 完全版 / 2027年春予定。

Archive

まち歩き + トークのセットを、合計 9 回開催します。

ARKHE NODE SEASON (シーズン) 1

まちを耕す地元のひと・店と。〈前橋国際芸術祭 会期前・全4回 / 6~7月〉

時間 15:00 - 18:30 集合 本屋水紋 2F 前橋市千代田町2丁目12-4

6 SAT / 13 第1回 / まちの端、川沿い、音楽
 ●トーク会場: Megrem STUDIO (本町3-1-10)

近藤康裕
 グルマンカレー店主 / マジックアワー主宰
 広瀬川沿いの人気カレー店主。店内でトークやライブも仕掛ける、まちの仕掛け人。

MEG
 Megrem 店主 / DJ
 元民謡クルセイダースのボーカル。馬場川下流の古民家をDIYでスタジオ兼カフェに蘇らせた。

6 SAT / 20 第2回 / 建築家と飲食店、それぞれが見るまちなか
 ●トーク会場: 夜家 (千代田町1-14-18)

AANE IINE
 木暮勇斗・新井裕作
 建築コレクティブ AANE / 不動産 IINE
 住宅から商業まで設計し、最近では空き物件と人をつなぐ不動産も立ち上げた新進気鋭のタッグ。

Hazumi
 玉橋南実 | Hazumi
 LAUGH COFFEE、WILLOW POPCORN、悠風……若者がまちに足を運ぶ理由になる店を、続けてつくる人。

7 SAT / 4 第3回 / 学生の頃からまちなかに関わるふたり
 ●トーク会場: Bentena SHOP (千代田町3-3-24)

竹内躍人
 ルルなビール店主 / コピーライター
 まちなか唯一のクラフトビール醸造所店主。前橋〇〇部が多数の企画を牽引してきた仕掛け人。

トス
 岡田友大
 MaebashiWorks / tos / Bentena SHOP
 まちなか拠点の建築デザイナー。ギャラリーと物販兼ポップススタンドを運営、まちでよく見かける人。

7 SAT / 18 第4回 / 裏弁天の逆襲
 ●トーク会場: hengen (千代田町3-5-1)

hengen
 金山慎太郎・金山杏菜
 本屋・学び場・アトリエの複合施設を夫婦で運営。本企画最年少。

CASA FRESCO
 野口泰平
 CASA FRESCO
 裏弁天通りのスペイン料理店主。音楽・ファッション・アートが店に溢れる、カルチャー導線の拠点。

ARKHE NODE SEASON (シーズン) 2

全国の編集者ゲストと。〈前橋国際芸術祭 会期中・全5回 / 10~12月〉

時間 15:00 - 19:10 集合 本屋水紋 2F 前橋市千代田町2丁目12-4

10 SAT / 3 第5回 / 編集、出版、まちやど
 ●公開編集会議: ベにや (千代田町3-3-21)
 ●トーク会場: 本屋水紋 2F



川口瞬
 真鶴出版代表 / 『日常』編集長
 「泊まれる出版社」をコンセプトに真鶴で出版を営む。日本まちやど協合理事、LOCAL REPUBLIC AWARD 2019 最優秀賞。

10 SAT / 24 第6回 / やわらかいインフラ2026
 ●公開編集会議: ラフコーヒー (千代田町2-10-1)
 ●トーク会場: 本屋水紋 2F



指出一正
 ソフト編集長 / 日本関係人口協会代表理事
 群馬県生まれ。地域プロジェクトを国・自治体・民間で多数手がける、関係人口論の旗手。最新刊『オン・ザ・ロード2 スーパーウェルビーイング』。

11 SAT / 7 第7回 / ローカルを楽しむ 私たちの踊り場
 ●公開編集会議: ルルなビール (本町2-1-12)
 ●トーク会場: 本屋水紋 2F



金澤李花子
 上古町の百年長屋SAN副館長 / 合同会社踊り場
 新潟 U ターンで百年長屋を再生。商店街振興と地域メディア編集を行き来する人。2026年「上古町の門前宿 ODO」開業。

11 SAT / 28 第8回 / 世界のまちと定期的に見ている前橋
 ●公開編集会議: まちのスナック「3/SUN」 (三河町1-9-3)
 ●トーク会場: 本屋水紋 2F



石川由佳子
 アーバニスト / for Cities 共同代表
 東京・カイロ・ホーチミンほか、市民主体で都市を「使いこなす」活動を国内外で企てる。「Urbanist School」 「Dear Tree Project」 主宰。

12 SAT / 12 第9回 / 編集者はまちの何をどう編集するのか
 ●公開編集会議: TODAY△ (三河町1-12-4)
 ●トーク会場: 本屋水紋 2F



徳谷柿次郎
 株式会社 Huuuu 代表取締役 / 作家・編集者
 『ジモコロ』編集長を8年やりきって、長野・標高700mの山奥へ、リアルな場・出版・Podcastと、形にする衝動でつくり続ける編集者の人。

途中参加・離脱 OK。

詳細は Instagram@arkhenode

